

神奈川県畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045(761)4191
FAX 045(759)1162
発行人
志村善一

神奈川県畜産会のホームページ
「かながわ畜産ひろば」
[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm]

毎月1回(1日)発行

〔神奈川県畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます〕

定価1部10円(1年100円)
会員の購読料は会費に含む

平成二十四年度県畜産関係 当初予算の概要について

神奈川県畜産関係の平成二十四年度当初予算は、「九〇〇億円の財源不足」という非常に厳しい財政状況の中で、本県を取り巻く喫緊の課題に

対して的確に、かつ、スピード感を持って対応するとともに、県民一人ひとりのいのちが輝き、人やものを引きつける魅力を持った「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けた予算編成といたしました。

そのような中で、畜産関係の当初予算については、飼料価格の高止まりや畜産物価格の低迷等による厳しい畜産経営を支援するため、自給飼料増産対策を推進し、省力・低コストの飼料生産体制の確立を目指すほか、乳用牛を活用した和牛(かながわ産牛肉)生産による地産地消の推進や安全・安心な畜産物を県民に供給するための新たな事業として、農場HACCP認定制度の普及推進に取り組みます。

また、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生に備え、防疫演習の実施等、危機管理対策に取り組みます。予算規模は、四億二八五〇万円余であり、以下に施策分野ごとに整理した主な事業等を紹介いたします。

- 一 畜産技術振興関係
 - 一三、七八八千円 畜産経営の健全な発展と畜産物の安定供給を図るため、先進的技術を活用した高品質・低コスト生産等による経営体質の強化推進、消費者の畜産に対する理解醸成と畜産物の消費拡大を図るための各種事業を実施します。
- 二 畜産飼料対策関係
 - 三、九八〇千円 安全な畜産物の生産を図るため、飼料の適正使用に対する指導、立入検査、成分分析を実施するとともに、自給飼料の増産を図るため、本県での生産に適した奨励品種の選定や農作業受託組織(コントラクター)による飼料生産体制の確立推進などを実施します。
- 三 生乳流通改善調整事業関係
 - 五、〇一二十千円 生乳の計画生産と流通の合理化、新鮮な良質生乳生産のために乳質改善等の推進や加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づく生乳の用途別取引数量の確認を行います。また、酪農経営の安定に取り組み酪農団体を支援します。
- 四 食肉鶏卵流通改善事業関係
 - 一六二、七〇六千円 県民に新鮮で安全な食肉を安定的に供給する神奈川食肉センターを整備するための借入金償還を支援します。また、養鶏経営の安定を図るため、鶏卵の価格安定制度を支援します。
- 五 酪農用牛対策関係
 - 二、一五四千円 県民に安全で安心な牛肉を安定的に供給するため、酪農家と肉牛農家が連携した「かながわ産牛肉」の生産体制を構築することにより、地産地消を推進します。
- 六 畜産経営環境整備事業関係
 - 四、六一〇千円 畜産経営に起因する環境問題の発生を防止するための総合的な調整・指導を行います。また、畜産経営環境の改善に必要な機械・車両等の畜産環境機械リースに助成します。
- 七 大野山乳牛育成牧場関係
 - 五〇、六三〇千円 子牛の育成条件に恵まれていない本県において、放牧育成を実施し、優良後継牛を確保します。また、草地や飼養施設等の維持管理及び牧道の復旧工事を行うほか、県民が体験できる「交流活動」に取り組み、畜産業、自然環境及び地元産業と県民との交流を図ります。
- 八 家畜改良事業関係
 - 四、二八五千円 優秀な能力を持った種畜を確保し、家畜の改良を推進する事業を実施します。
- 九 養豚対策関係
 - 一四、五〇五千円 系統豚ユメカナエル(ランドレース種)の維持やその系統豚を活用した銘柄豚の普及推進を図ります。また、養豚経営の安定を図るため、豚肉の価格安定制度を支援します。
- 十 未利用資源畜産飼料化関係
 - 二、三八八千円 畜産物の生産コストの低減と有機性資源(バイオマス)の利活用を推進するため、食品残さの飼料化技術について研究開発を行います。
- 十一 牛群能力向上関係
 - 一、一四九千円 県民への牛乳の安定供給と酪農経営の安定化を図るため、受精卵移植技術の活用、雌雄産み分け技術の現地実証による実用化及び牛群検定に基づく選抜淘汰による乳用牛の改良増産を推進します。
- 十二 BSE特別対策事業
 - 一〇、五九二千円 BSEの発生を予防し、まん延を防止するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき二十四か月齢以上の死亡牛全頭を検査するほか、飼料の製造から使用の各段階における飼料の安全性の確保を推進します。
- 十三 家畜保健衛生関係
 - 五七、四四一十千円 高病原性鳥インフルエンザ等家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、豚オースキー病ワクチン接種経費への助成等、効果的な防疫体制を推進します。また、農場HACCP認定制度の推進や動物用医薬品の適正使用を指導し、畜産物の安全・安心の確保を図ります。
- 十四 畜産技術所試験研究関係
 - 九五、二六三千円 高品質な牛肉や豚肉の生産技術の開発、受胎率向上に向けた胚移植技術の開発、臭気発生量の少ない都市型畜産経営技術の開発、高水分原料のサイレージ調製技術の開発等の試験研究に取り組みます。

原発賠償対策の最近の動き

去る四月六日、J A原発事故損害賠償対策協議会第三回牛肉部会が中央農業会館で開催され、出席した東電に対し、「神奈川産牛肉の風評被害による価格下落に係る再度の請求について(要請)」の要請書を手渡し、改めて賠償対象とするように強く訴えました。これは、先般の東電からのゼロ回答を受けて、牛肉部会で再度、本県産牛肉に風評被害があったことを示す資料やデータの収集・分析を行ったところ、原発事故との相当因果関係を客観的に立証できると判断し、その根拠資料を添えて要請したものです。

【要請書の概要】

- ① 「神奈川県産牛肉の価格下落に係る要因について」以下の五つの項目を挙げ、根拠資料を示して説明・要請しました。
- 一 市場等実需者からの受け入れ拒否
 - 生産者や問屋等から聞き取ったところ、小売、スーパー等からの受け入れ拒否があった。
- 二 消費者の買い控え行動
 - ① 県内産牛肉から放射性セシウムが検出された事例がある。
 - ② 横浜市ほか複数の市では、学校給食に牛肉を使用しない旨を決定し、市教育委員会から保護者宛に文書で通知したり、ホームページ等で公表している。
 - ③ 小売業者の月別売上高を前年と比較すると、七月以降、
- 三 個人別収入額の下落状況
 - ① 二十三年の格付別枝肉肉価格を過去三カ年の平均価格と比較すると、その下落は明らか。
- 四 二十三年の横浜市場の枝肉価格は、原発事故の影響がない福岡市場に比べ安値で推移しており、これは前年とは反転した推移となっている。
- 五 全頭・全戸検査による出荷頭数制限の影響
 - ① 七月、八月の東京市場での枝肉取引頭数は、全頭・全戸検査により、実質的に出荷制限がされ、前年同月比で、約五〇%前後である。取引頭数の減少により卸売価格は上昇局面を迎えるはずが一割強落ち込むなど市場における通常の価格動向とは異なっており、消費者の買い控え行動と

桜前線は北方四島まで 花見酒特別ビザ無し上陸

今年ほど季節移りの不安定な年があっただろうか。四月上旬に南関東を通過した桜前線は何処まで北上したのかな。桜の咲くころになると日本中が桜の話題になり、テレビの歌謡番組にも桜の歌がながれ、その背景に満開の桜の花が映し出されました。ところが、その花の色たるや赤色が濃すぎて桜前線の指標になるソメイヨシノには似ても似つかない桃色でした。自然の桜の色を知らないか、知っているも舞台効果等を考慮しての着色だったのでしょうか。紅と白と中間の淡紅色をピンクと片仮名で表現するようになってから桃色と桜色の区別が曖昧になり、桜に「ピンク桃色」を着色してしまっただけでしょうか。桜の花を称える歌を歌っている背景が桃色では様

新むらさずめ

スになりますね。インターネットで桜前線を検索したら南から北上していった終点は五月末の北海道の釧路でした。北方四島に桜は咲かないので「日本人」のウオッカ(焼酎)をご馳走したらハラショーって喜んでくれないかな。花見酒を皮切りに暑気払い、紅葉狩り、雪見酒。きつと仲良くなれると思うよ。(忠九朗)

肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産者補給金が交付されます。平成二十三年度第4四半期(二十四年一〜三月)の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。

黒毛和種	四二四、二〇〇円
交雑種	二四〇、七〇〇円
乳用種	八九、九〇〇円

乳用種は保証基準価格(二一六、〇〇〇円)を下回りましたので、その差額、二六、一〇〇円の生産者補給金が交付されることになりました。

競馬の収益金は畜産振興に役立っています。

川崎競馬開催日

5月14日(月)~18日(金)
6月11日(月)~15日(金)
ナイター開催

技術情報

塩類濃度の低い堆肥の特徴

★堆肥の塩類濃度

最近、全国的に家畜ふん堆肥の塩類濃度が高い傾向があり、神奈川県でも同様な傾向があることを報告しました(本誌第587号)。牛ふん堆肥は家畜ふん堆肥の中で塩類濃度が低い傾向にあり、一部の耕種農家では、牛ふん堆肥を土壌物理性の改良に重点をおいた資材、いわゆる土づくりの資材として利用しています。そのため、堆肥を土づくり目的で使用する耕種農家は塩類濃度の高い堆肥を敬遠するのです。

★低塩類堆肥の製造と成分

一部は酪農家では、ふんの含水率を低下させて堆肥化しやすくするなどの目的で排せつ物処理に固液分離機を利用しています。ふんを固液分離すると水溶性である塩類は液分に多く移行すると考えられます。そこで、当所のスクリーンプレス型固液分離装置で乳牛ふんを固液分離してみました。その結果、電気伝導率(EC) 9.5 dS/m

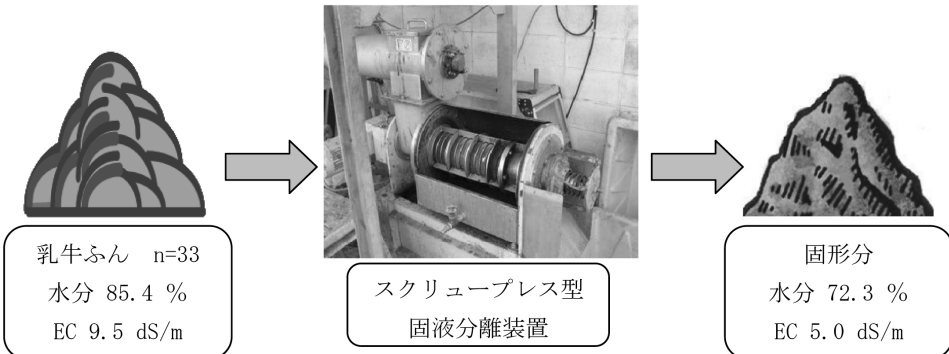


図1 スクリュープレス型固液分離機で乳牛ふんを固液分離した時の水分と電気伝導率(EC)の変化

表1 低塩類堆肥の肥料成分組成

	pH	EC (dS/m)	TC (DM%)	TN	C/N	P ₂ O ₅ (DM%)	K ₂ O	CaO	MgO
低塩類堆肥(n=5)	7.8±0.3	1.3±0.4	44.2±1.6	1.8±0.5	26.3±6.1	0.9±0.3	1.0±0.2	0.9±0.5	0.5±0.2
乳牛ふん堆肥 ¹⁾	8.7	4.1	40.9	2.5	16.4	2.2	2.9	1.0	1.1
乳牛ふん堆肥 ²⁾	8.6	2.4	36.6	2.2	16.6	1.8	2.8	4.4	1.5

1) 当所発酵乾燥ハウスで製造した乳牛ふん堆肥
2) 全国家畜ふん堆肥品質実態調査結果、畜産環境整備機構、平成12~16年度、(n=1,502)

表2 堆肥施用時の最大容水量

	最大容水量 (ml/100g 乾土)
低塩類堆肥区*	100.6
低塩類堆肥倍量区	134.4
牛ふん堆肥区*	84.8
化成肥料区	88.9

*; 10aあたり乾物で1tの堆肥を施用

表3 雨よけハウスでコマツナを栽培した時の土壌成分の変化

	pH			EC (dS/m)			無機態窒素 (mg/100g 乾土)		
	1作目	3作目	6作目	1作目	3作目	6作目	1作目	3作目	6作目
低塩類堆肥区	5.70	5.44	5.34	0.35	0.59	1.04	25	6	8
低塩類堆肥倍量区	5.70	5.51	5.4	0.35	0.66	1.22	26	6	24
牛ふん堆肥区	5.80	5.78	5.74	0.60	1.18	1.40	28	15	33
化成肥料区	5.70	5.46	5.47	0.32	0.46	0.69	25	4	9

	K ₂ O (mg/100g 乾土)			P ₂ O ₅ (mg/100g 乾土)			MgO (mg/100g 乾土)		
	1作目	3作目	6作目	1作目	3作目	6作目	1作目	3作目	6作目
低塩類堆肥区	103	107	137	40	35	44	88	96	131
低塩類堆肥倍量区	121	135	203	44	38	55	79	108	167
牛ふん堆肥区	165	261	347	50	65	93	98	139	176
化成肥料区	83	56	51	38	30	34	74	90	100

	CaO (mg/100g 乾土)		
	1作目	3作目	6作目
低塩類堆肥区	487	525	604
低塩類堆肥倍量区	504	547	705
牛ふん堆肥区	537	629	743
化成肥料区	501	538	540

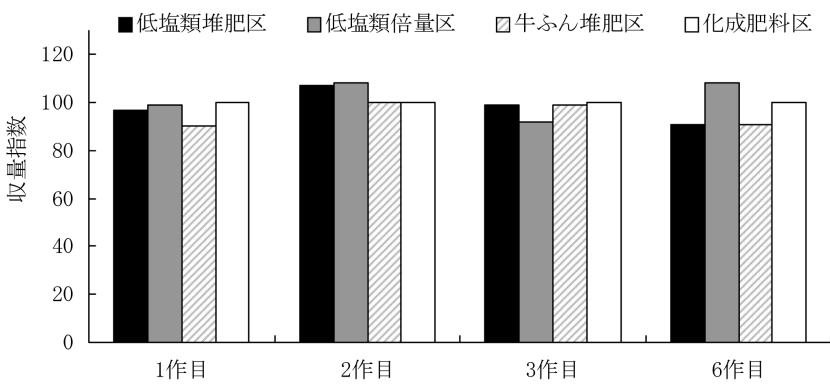


図2 コマツナの収量指数(化成肥料区が100)

表4 低塩類堆肥を培養土資材とした時の生育量の変化

	開花到達日数	株張り [*] (cm)	草丈(花含まず) [*] (cm)	地上部重 [*] (g)	地下部重 [*] (g)	根長 [*] (cm)
慣行区	78	136.3	63.7	11.8	5.3	25.8
1:1区**	77	137.4	62.9	12.3	5.3	21.5
1:2区**	82	127.4	66.1	9.9	4.2	19.7
1:4区**	78	117.6	62.6	8.2	3.3	20.4
牛ふん堆肥混合区	82	98.8	57.9	9.8	4.6	22.4

*株張り、草丈は開花日調査、地上部重、地下部重、根長は一斉調査
**低塩類堆肥:赤土

新マルキン事業

『平成二十三年第4四半期の補てん金単交付について』
肥育牛生産者を取り巻く情勢が大変厳しいことから、第2四半期から第3四半期(七月十二月)の販売牛に対して毎月の補てん金交付を行ってまいりました。枝肉価格の低迷が続いていることから、第4四半期(一月三月)に販売された契約肥育牛についても、毎月補てん金を支払うこととなりました。

★おわりに

従来から塩類濃度の低い牛ふん堆肥は、土壌改良資材として土壌環境を改善し土を豊かにする、土づくりの目的で利用されてきました。家畜ふん堆肥を耕種農家に広く利用してもらうには、皆さんの作っている堆肥の成分や特徴を把握して、耕種農家にしっかり伝えたいことが大切です。皆さんも作られている堆肥のECを一度測ってみてはいかがでしょうか。測定してみたい方は企画研究課または普及指導課までご連絡ください。(農業技術センター畜産技術所 企画研究課 田邊眞)

大野山たより

今年度一回目の預託牛入牧を四月三日に行い、三十四頭の元気な子牛達を受け入れました。今回は搬入が一時に集中することもなく、順調に受け入れが完了しました。運搬の労をおかけした関係者の皆様、衛生検査や手続き等でお世話になった関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。受け入れは午前中で無事完了したのが春の嵐で台風以上の暴風雨が吹き荒れ、ちよつとの時間差で危なく散々な目にあうところでした。山の神様のご加護に感謝です。一番荒れたのが帰宅時間だったため、広域で通勤列車が運転を見合わせ、小田急線でも各駅で風の具合で最終行き先がめまぐるしく変わるので、こちらのホームから隣のホームへザッと乗客が移動する場面が続き、再開のアナウンス直後には運転中止となるような状況でした。しかし、運転手・車掌・駅員は連携してこれに対応し、乗客も冷静に行動していたのは緊急時リスク管理のお手本を見ていたようで、日本人のすばらしさを再認識し、勉強になりました。いくつかの駅で外に出ていろいろなお店で飯を食い、これはこれで楽しみなが三時間以上おかけ、体重オーバーで帰宅しました。大野山の入牧日は、何故か天気が大層なことになってしまいました。

こんなこともあったので、今年の大野山牧場の安全祈願のため、例年以上に気合を込め、静岡県小山市円通寺の馬頭観音様に祈願に行っていました。もちろん年休で個人責任で行ってきた訳ではありませんが、何人もの県内酪農家の方にお会いでき、牛の安全を何とか守りたい、最後は神仏に頼むしかないとの皆さんの心境がつくづく同感されました。さて今年の四月の人事異動で四名の異動があり、宮下前次長、浅川主任に代わり先崎次長、池田主任が着任しました。これからは新体制で、ご支援のほどよろしくお願いたします。

(大野山乳牛育成牧場長 青木)

『平成二十四年度生産者積立金の補てん金交付について』
新マルキン事業における肥育牛一頭当たりの生産者積立金の額が公表されましたのでお知らせします。
肉専用種 一三、〇〇〇円
交雑種 三〇、〇〇〇円
乳用種 三〇、〇〇〇円
(経営指導部 倉迫)

★補てん金交付日
平成二十四年四月二十七日
平成二十四年四月二十七日

◎二月販売牛補てん金単価
肉専用種 六七、〇〇〇円
交雑種 一五〇、八〇〇円
乳用種 一二四、一〇〇円

★補てん金交付日
平成二十四年三月二十七日